

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社北洋銀行（証券コード: 8524）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

A +
安定的

■格付事由

- (1) 札幌市に本店を置く資金量 11 兆円の第二地方銀行。預貸金ともにトップシェアを確保しており、プレゼンスは高い。発行体格付は、堅固な事業基盤、良好な貸出資産の質、相応の資本充実度などを反映している。基礎的な収益力がやや低い点が課題となってきたが、貸出金残高の拡大と国内金利の上昇などを背景に、着実に高まっている。適切なリスクテイクを通じた収益機会の拡大などにより、収益力がどの程度改善していくかがポイントと JCR は考えている。
- (2) 収益力は格付対比でやや低い。公共貸出（政府・地公体向け）や日銀預け金の構成比が高いこともあり、ROA（コア業務純益ベース）は A レンジの地域金融機関と比較してやや見劣りする水準にある。もともと、リスクアセットベースでみた RORA は格付相応の水準にあり、コア業務純益（投資信託解約損益を除く）は増益基調にある。事業性貸出の利回り上昇や円債の積み増しにより資金運用収益が拡大していることに加え、金利の低かった日銀当座預金等の利回りが改善したことなどで収益力が強化されている。新人事制度の導入に伴う人件費の増加などが続くと思込まれるが、貸出金残高の拡大と国内の金利上昇を背景に資金運用収益が押し上げられ、ROA（コア業務純益ベース）は改善していくとみている。
- (3) 貸出資産の健全性は維持されている。金融再生法開示債権比率は 1% 台前半で推移しており、公共貸出の構成比が高いことを踏まえても低位にある。与信運営方針は堅実であり、与信費用比率は、A レンジの地域金融機関との比較でみても抑制された水準で推移している。インフレ進行などが与信先の業績に与える影響に留意が必要ではあるが、与信費用はコア業務純益で十分に吸収可能な範囲内で推移するとみている。
- (4) 市場部門において過度なリスクテイクは行われていない。金利上昇局面において安定的なインカム収益を確保するため、円債を中心に有価証券残高を積み増す方針であるが、デュレーションを短期化するなど金利リスクは適切にコントロールされている。円債は評価損を計上しているが、株式の評価益が厚く、その他有価証券全体としては評価益を維持している。
- (5) 資本充実度は A レンジ相応とみている。一般貸倒引当金などを調整した連結コア資本比率は 25 年 3 月末 12% 台後半と、バーゼルⅢ完全実施ベースでみても高い水準にある。成長期待分野への投融資等にかかるリスクアセットの拡大、株主還元の強化などが下押し要因になるとみられる一方、収益力の改善などを背景に安定した内部留保の蓄積が見込まれることなどから、格付相応の資本充実度は維持されるとみている。

（担当）宮尾 知浩・阿知波 聖人

■格付対象

発行体：株式会社北洋銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 12 月 15 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「銀行等」(2021 年 10 月 1 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社北洋銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル